

Ogaki Mini Maker Faire®

PRESS RELEASE

Ogaki Mini Maker Faire 2022

Make: O'REILLY®  I AM AS

● 開催概要

つくることから、はじめよう。

もの あそび ぶんか

Maker Faireは、電子工作、クラフト、ロボティクス、モビリティ、科学、アート／デザイン、電子楽器など、様々な分野のつくり手「Maker」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、その楽しさを共有するDIYの祭典です。

Mini Maker Faireはコミュニティが主催するローカル版であり、2010年より隔年で開催してきた大垣は、今回で早くも7回目となります。

2020年12月に開催した前回は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、ワクチンもまだ無い状況における初めての地方開催でした。そのため、出展者と来場者の数を大幅に制限し、出展者、来場者、主催者の安全を最大限確保することを最優先しました。

今回は、引き続き全参加者の安全には配慮しつつ、より多くの方に参加していただけるようなバランスを模索しました。くわえて、物理空間とデジタル空間を組み合わせた開催方法にも挑戦します。「つくることから、はじめよう。もの／あそび／ぶんか」を掲げて開催してきたOgaki Mini Maker Faire、ぜひご参加ください。

「Ogaki Mini Maker Faire 2022」

会 場 ソフトピアジャパンセンタービル（岐阜県大垣市）
+ 〈メタバース〉会場(2D会場：Gather / AR・VR会場：STYLY)
※どちらか一方でも参加可能です

共 催 株式会社 オライリー・ジャパン

主 催 Ogaki Mini Maker Faire 2022 実行委員会

大垣商工会議所、ぎふIT・ものづくり協議会、一般社団法人岐阜県情報産業協会、一般社団法人岐阜県工業会、公益財団法人ソフトピアジャパン、公益財団法人岐阜県産業経済振興センター、岐阜県金属工業団地協同組合、伊藤忠アーバンコミュニティ・グループ、岐阜工業高等専門学校、岐阜県、大垣市、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

後 援 経済産業省、岐阜県教育委員会、大垣市教育委員会、大垣市観光協会

入場料 無料（事前予約制※入場日時指定のチケットが必要です）

お問い合わせ Ogaki Mini Maker Faire 2022 実行委員会事務局
（情報科学芸術大学院大学[IAMAS]事務局内）

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7（ソフトピアジャパンセンター内）
E-mail：info.ommf2022@ml.iamas.ac.jp
Telephone：0584-75-6600

<https://www.iamas.ac.jp/ommf2022/>

※詳細情報、チケット予約、〈メタバース〉会場は上記の公式Webサイトから

● 物理会場

ソフトピアジャパン センタービル 3Fソピアホールを会場に、総勢104組のMakerによる作品やプロジェクトの展示をします。また関連企画として「岐阜クリエイション工房2022」成果報告展示・NxPC Lab.によるイベントも行います。

Makerによる作品展示（一部抜粋）



あいらぼの紹介 あいらぼ*

【新感覚忍者シューティングXSA】

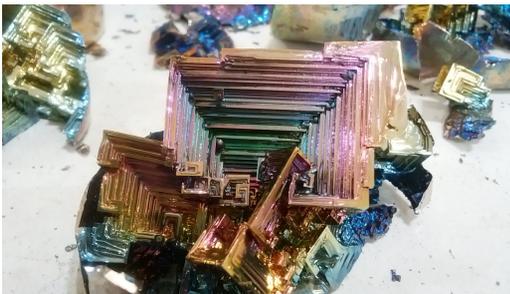
大人も子どもも忍者になりきって、見えないシュリケンを投げ合うシューティングゲームデバイスです。クナイデバイスを敵に向けて手裏剣を投げるモーションをすると、敵のデバイスにダメージを与えることができます。

【SlipperX】

履くだけでゲームのキャラクターとあなたの足を同期させるスリッパ型デバイス。あなたが歩けばゲームのキャラクターも歩く。

【聴覚機能拡張】

周りから聞こえてくる声すべてが美少女の声になるヘッドフォン。



世界は結晶で出来ている 石華工匠

ピスマスについては、机上にて「ピスマス結晶の展示・販売」と「簡略的な作り方の説明のパネル」を常設とし、定時に屋外にて作成の実演を行います（火気使用有り、1日3~4回、1回あたり約30分程度）。

方解石の作成については、簡略な説明と実際にペットボトルの中で結晶が成長しているものを持ち込みます。具体的にはペットボトルに「塩化カルシウム（市販されている押し入れ除湿剤に使われています）の水溶液を寒天で固めたもの」と「炭酸ナトリウム（食品添加用）の水溶液」を入れたものを展示します。

関連企画



●岐阜クリエイション工房2022 成果報告展示

岐阜クリエイション工房は、高校生などの若者が、メディア表現に取り組む「アーティスト」たちと一緒に作品をつくることを通じて、発想力や創造力を学ぶことを目的に、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)が開催するワークショップです。

この展示では、2022年度に開催した3つのワークショップ「モノからクッション」「自分の電子楽器をデザインしよう!」「NFTとGenerative Art」で参加者が制作した作品群と、そこに至るまでの過程を紹介します。



●NxPC Lab. 「connect2」

NxPC.Labは、クラブやライブにおけるアーティストと観客の相互作用によってもたらされる場の臨場感を拡大し、ネットへも拡散させるためのメディアテクノロジーの実現を目指した研究機関です。現代のメディア体験において必要とされる対話性、参加性をデバイス、インタフェース、ネットワークといったメディアテクノロジーを駆使することで、音楽体験を拡張し、音楽空間におけるコミュニケーションを次のステージへ導くための研究開発、イベントを実施しています。

● プレゼンテーション・ワークショップ企画

Makerによるプレゼンテーション・ワークショップの企画を開催します。プレゼンテーションはYouTube Liveでの配信も予定しています。

プレゼンテーション(一部抜粋)



Interactive Multimedia Generated by Rubbing/Tactile Interfaces – Biofeedback Effects for Wellness Entertainment

静岡文化芸術大学

今年のArs Electronica2022 "Extended Animation"シンポジウム (<https://expandedanimation.com/>)の"Synaesthetic Syntax"セッションで長嶋洋一が講演した内容および最新の状況について簡単に報告します。日本語で話します。

ワークショップ(一部抜粋)



ゆびあみのシュシュ

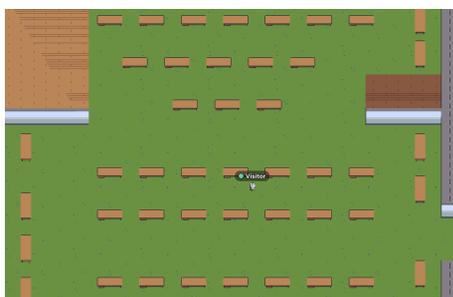
CODE for GIFU 手芸部

素敵な糸を引き揃えて、世界で一つだけの糸を作り、ゆびあみでシュシュを作ります。今回はレースも入ってゴージャスですよ!(1回500円)

● あたらしい試み〈メタバース〉会場について

本イベントは、物理会場(=ソフトピアジャパンセンタービル)にくわえて、3つのデジタル空間でも参加していただけます。〈2D会場〉のプラットフォームは「Gather」、〈AR会場〉と〈VR会場〉の公式プラットフォームは「STYLY」になります。

〈メタバース〉会場(Gather)



〈2D会場〉はレトロなRPGのような画面で気軽に参加でき、物理会場に出展されている全作品の詳細な説明や制作過程などが展示されます。

〈AR会場〉と〈VR会場〉では、出展者のうち希望者による作品が展示されます。〈AR会場〉は、物理会場に配置されたQRコードなどから参加でき、物理会場の作品と組み合わせた体験ができます。また〈VR会場〉では、デジタル空間ならではの自由な作品が展開されます。ぜひ、物理会場とあわせてご参加ください。

AR・VR会場の公式プラットフォームはSTYLYです。
(URL:<https://gallery.styly.cc/about/ja>)

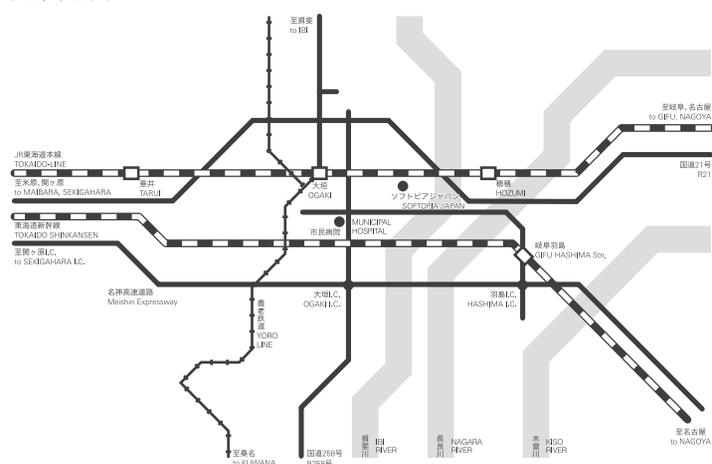
● アクセス(物理会場)

JR東海道線「大垣駅」から

バスで約10分 (名阪近鉄バス)

大垣駅南口 3番乗場 ソフトピアジャパン下車

周辺交通図



[東京方面より]

東京 - 名古屋：新幹線 1 時間 40 分

名古屋 - 大垣：JR 東海道本線新快速列車 35 分

[大阪方面より]

新大阪 - 米原：新幹線 40 分

米原 - 大垣：JR 東海道線新快速 30 分

[中部国際空港セントレアから]

セントレア→金山：名古屋鉄道ミュージスカイ 30 分

金山→大垣：JR 東海道本線 40 分

名神高速道路をご利用の場合

「大垣IC」から車で約20分

「岐阜羽島IC」から車で約25分

※車でお越しの場合はソフトピア地下駐車場もしくは、Ogaki Mini Maker Faire 2022 特設駐車場をご利用下さい。

[住所] 大垣市加賀野4丁目1番地7 ソフトピアジャパンセンター

<http://www.softopia.info/>



Make: O'REILLY®  IAMAS

Ogaki Mini Maker Faire 2022 実行委員会事務局
(情報科学芸術大学院大学[IAMAS]事務局内)

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7
(ソフトピアジャパンセンター内)

E-mail : info.ommf2022@ml.iamas.ac.jp

Telephone : 0584-75-6600